

阿見町議会は

二所ノ関部屋を応援しています



令和4年第3回定例会の本会議では
「三所ノ関部屋ポロシャツ」を着用して
大相撲「三所ノ関部屋」を応援しました

- 2ページ 決算審査
令和3年度予算はこのように使われた
- 4ページ 審議結果
消費税インボイス制度の実施中止を求める意見書を提出
- 7ページ 一般質問
10人の議員、町政を問う
- 13ページ 議会活動
友好都市「中国柳州市」とリモートミーティング
- 14ページ 委員会活動
広聴広報特別委員会で議会広報の研修に参加
- 16ページ 町びとインタビュー
住民の声を聴く、大きな耳を持ち続けて

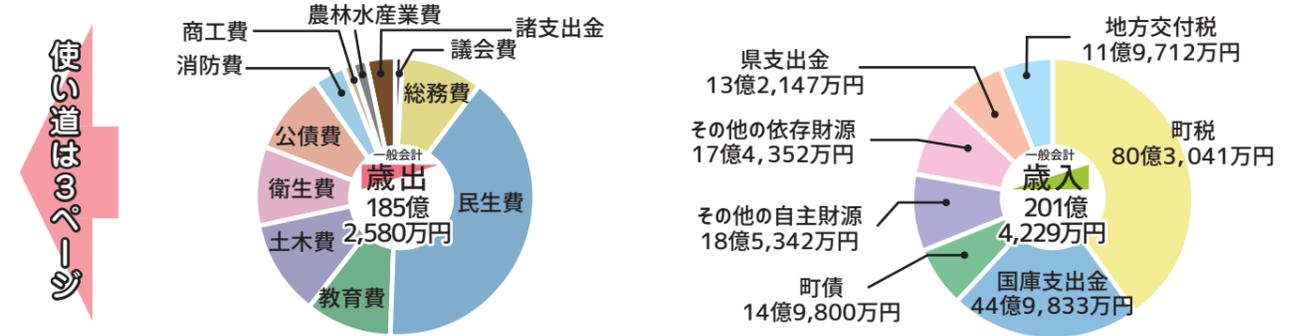
決算審査

令和3年度一般会計の決算額は、歳入総額201億4,229万円（前年度比-12.0%）、歳出総額185億2,580万2千円（前年度比-16.5%）となった。

主な要因は、**特別定額給付金（1人10万円を給付）47億8,966万5千円**の皆減などにより、総務費が前年度比72.8%の減となったことによる。

	歳入総額	歳出総額	差引額	
一般会計	20,142,290,430	18,525,802,251	1,616,488,179	
特別会計	国民健康保険	4,364,594,228	909,919,500	
	介護保険	3,355,404,706	116,470,559	
	後期高齢者医療	1,037,363,524	4,194,100	
	小計	9,787,946,617	8,757,362,458	1,030,584,159
合計	29,930,237,047	27,283,164,709	2,647,072,338	
水道事業会計	収入	支出	差引額	
	収益的	1,300,168,537	1,119,009,940	181,158,597
	資本的	190,804,000	570,271,819	-379,467,819
下水道事業会計	収入	支出	差引額	
	収益的	1,814,399,665	1,584,398,885	230,000,780
	資本的	687,881,197	1,107,246,320	-419,365,123

※水道及び下水道事業会計で、資本的収入及び支出における収入の不足額は、内部留保資金等で補てんしました。



予算決算特別委員会

今年度から2年を任期とする予算決算特別委員会を設置し、当初予算、決算及び事務事業を一体的に審査・調査している。決算認定では、決算を次年度以降の予算に反映させるという目的で、令和3年度の重点事業を選定し、議会報告会等で町民のご意見も伺いながら、事務事業調査を行った。事務事業調査と定例会での3日間の審議結果から事務事業評価を行い、提言書として取りまとめ、執行部に提出した。



阿見町の財政については
ホームページをご覧ください

提言書提出の
詳細はコチラ

歳出 令和3年度予算は このように使われた

◆新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充てた事業

<p>特産品として開発した梅酒「華梅」と蕎麦焼酎「桜雫」</p>	<p>総務費</p> <p>17億5,862万円</p> <ul style="list-style-type: none"> 町公式ホームページの改修 特産品の開発 高齢者運転免許自主返納を支援 <p>など</p>	<p>病児保育室「たんぼぼ」</p>	<p>民生費</p> <p>74億9,910万円</p> <ul style="list-style-type: none"> 民間保育施設を整備 病児保育を実施 保育所・児童館・福祉センターまほろば・総合保健福祉会館の手洗水栓の自動化等 <p>など</p>
<p>電子黒板を使った授業</p>	<p>教育費</p> <p>17億9,442万円</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童生徒1人1台端末の整備 町立小学校に電子黒板を設置（99台） かすみ公民館・君原公民館の手洗水栓の自動化・トイレ改修等 <p>など</p>	<p>牛久阿見ICに向かうバイパスの整備状況</p>	<p>土木費</p> <p>20億5,827万円</p> <ul style="list-style-type: none"> 牛久阿見IC周辺の土地利用を検討 都市計画道路寺子・飯倉線の整備 <p>など</p>
<p>不法投棄対策</p>	<p>衛生費</p> <p>16億9,362万円</p> <ul style="list-style-type: none"> 不法投棄対策 <p>など</p>	<p>新しくなった第13分団車両</p>	<p>消防費</p> <p>6億8,681万円</p> <ul style="list-style-type: none"> 第13分団消防ポンプ自動車を購入 <p>など</p>
<p>あみ大好き就職転職フェア2021</p>	<p>商工費</p> <p>2億2,944万円</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業立地等促進奨励金を交付 プレミアム付商品券を販売 観光協会補助金を交付 新商品開発を支援 就職転職フェアを開催 <p>など</p>	<p>産学官連携事業による竹林整備</p>	<p>農林水産業費</p> <p>3億0,003万円</p> <ul style="list-style-type: none"> 産学官連携事業 ふれあいの森トイレの手洗・小便器水栓の自動化 <p>など</p>

監査委員の審査意見より

- 多額の不用額について、原因や時期に応じて適切な減額補正を
- 出先機関における公金の取扱い方法の改善を
- 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の適切な活用を
- 新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより、今後の町財政の見通しは厳しく、飲食業・サービス業への打撃、個人消費の落ち込みは続く
- 今後町税が減収に転じたときに現在のインフラや公共施設の維持が可能か、高齢者の社会保障費の負担増への対応、子育て世代・若年層への将来ビジョンの展望が示せるのか等の課題が山積している

監査委員：佐藤 修一・栗原 宣行



色がついている議案は、質疑または討論を掲載している議案です。

令和4年第3回臨時会
令和4年8月9日



全議員が賛成した議案
総合保健福祉会館非常用自家発電装置等更新工事請負契約
阿見町総合保健福祉会館の非常用自家発電装置について、本体や照明器具、空調設備などを更新するための工事請負契約。契約金額 8,408 万 4 千円（予定価格 5,000 万円以上の工事請負契約は議会の議決が必要）

令和4年第3回定例会
令和4年9月6日 初日 ~ 9月27日 最終日



全議員が賛成した議案等

阿見町職員の育児休業等に関する条例の一部改正
職員の育児休業について、取得の要件緩和や柔軟化など「地方公務員の育児休業等に関する法律」の改正に伴う対応をするための改正

阿見町議会議員及び阿見町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正
公費負担となる選挙運動用自動車の借上料・燃料代や選挙運動用ビラの作成料について、「公職選挙法施行令」に定める基準額の引き上げに応じた改正

令和4年度阿見町一般会計補正予算（第3号）※1 P5-6 参照
3億 1,154 万円増額
【主な歳入】新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金、子育て世帯生活支援特別給付金事業費補助金、原子力損害賠償に関する和解金
【主な歳出】二所ノ関部屋連携推進事業、子育て世帯生活支援特別給付金事業、新型コロナウイルスワクチン接種事業、地域公共交通維持確保支援金、学校給食センター賄材料費

令和4年度阿見町国民健康保険特別会計補正予算
433万8千円増額（時間外勤務手当）

令和4年度阿見町後期高齢者医療特別会計補正予算
95万円増額（時間外勤務手当）

令和4年度阿見町水道事業会計補正予算
収益的収入を 330 万円増額（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した水道基本料金減免事業）、収益的支出を 2,320 万円増額（配水場等の施設更新の修繕費）

令和4年度阿見町下水道事業会計補正予算
収益的収支を 226 万 5 千円増額（時間外勤務手当）

令和3年度阿見町一般会計歳入歳出決算認定 P2-36 参照
令和3年度一般会計歳入歳出の決算の認定を求めるもの

令和3年度阿見町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定 P2-3 参照
令和3年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定を求めるもの

Table of council resolutions for Heisei 3, including items like '令和3年度阿見町介護保険特別会計歳入歳出決算認定' and '令和3年度阿見町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定'.

賛否が分かれた議案等

Table showing the results of council resolutions with columns for '賛否数' (Number of votes) and '議員名' (Council member names).

※議長（平岡博議員）は、賛否同数のとき以外は表決に加わりません。
※「○」は賛成、「×」は反対、「-」は欠席を表します。

令和4年第3回定例会 総務常任委員会 ※1
令和4年度阿見町一般会計補正予算（第3号）

問 化粧廻しのショーケース及び優勝額展示の場所は。
答 中央公民館ロビーの奥・役場1階ロビー・予科練平和記念館の無料スペースに、優勝額は中央公民館西側壁面に展示する。
問 各地の公民館にも展示する検討をしているか。
答 各地の公民館にも巡回展示する。
問 税金を使う以上このくらいの枠でということが必要ではないか。
答 来年度以降は3か年実施計画に計上し当初予算を組んでいく。



中央公民館に展示する優勝額

令和4年第3回定例会 産業建設常任委員会 ※1

令和4年度阿見町一般会計補正予算(第3号)

問 土地区画整理事務費の地権者勉強会支援業務について。
答 開発の機運醸成と知識理解を深めるため、実穀地区の地権者を対象とした3回程度の勉強会と意向調査を実施する。



9月上旬開催の勉強会(11月以降、補正予算にて地権者勉強会を実施予定)

令和4年第3回定例会 産業建設常任委員会 ※1

令和4年度阿見町水道事業会計補正予算

問 水道事業収益における家事用料金の減額は。
答 新型コロナウイルスの臨時交付金を活用した生活支援の一環として、家事用の基本料金3か月分を免除する。
問 自家水使用世帯に対する支援は。
答 別の機会に関係部署と検討する。

令和4年第3回定例会 民生教育常任委員会 ※1

令和4年度阿見町一般会計補正予算(第3号)

問 コロナ禍オンライン授業の際、自宅に通信環境の整っていない児童150名の内訳は。
答 アンケート結果で137名の希望者があり、そのうちWi-Fiルーターが家に設置されてないお宅が107名。137台に13台を予備として、150名に貸し出す。
問 給食センター運営費1,736万6,000円の内容について。
答 主なものは需要費1,729万6,000円で、食材費高騰による保護者の負担軽減を図り、質を落とすことなく給食を提供できるようにするため、地方創生臨時交付金を活用し、賄い材料費を増額する。



学校給食の一例

令和4年第3回定例会

令和3年度阿見町一般会計歳入歳出決算認定

内容 令和3年度一般会計歳入歳出の決算の認定を求めるもの
海野 隆 議員
令和3年度は、コロナ禍の影響を強く受けた一年だった。その中で、役場職員による消防部を編成し、地域防災の充実と消防団の防災力の強化を図ったことは特筆に値するもので高く評価できる。感染防止対策に取り組みつつ、町民生活と町内経済を維持するというバランスを取りながら進めてきた決算であり認定することに賛成する。

賛成します

令和4年第3回定例会

消費税インボイス制度の実施中止を求める意見書を国に提出することを求める請願

内容 中小零細事業者や個人事業主の事業継続と再生のために消費税インボイス制度の実施を中止することを求める意見書を国へ提出することの請願

採択

賛成します

飯野 良治 議員
消費税が預り金でないことは裁判で確定している。免税事業者が売り先の都合で課税事業者となり、消費税分を価格に上乗せできず持ち出しとなって売上が減少することが想定される。コロナ禍、物価高の中、多くの事業者の生活を脅かすインボイス制度の中止を求める意見書の提出を求め、賛成する。

反対します

樋口 達哉 議員
国策支持の立場から、また、提出者及び紹介者などに対し不同意であり、さらなる議論が必要であると認め、この請願の提出に反対する。

賛成多数で採択し、消費税インボイス制度の実施中止を求める意見書を国へ提出した。

海野 隆 議員
コロナ禍やロシアのウクライナ侵攻、急激な円安などで原材料価格やエネルギー価格が高騰している。中小企業や個人事業主の経営は厳しい。この傾向はしばらく続く。国に対してインボイス実施中止の意見書を提出することを求める本請願に賛成する。

10人の議員 町政を問う!

一般質問

一般質問は、議員が町政全般に対して現状の確認や方針を問うものです。掲載している内容は、質問者の確認のもと要約し、広聴広報特別委員会が校正したものを掲載しています。

議会議傍聴 手続きは簡単 ぜひ傍聴してみてください
議会の傍聴を希望される方は、会議の当日に役場3階議事事務局までお越しください。
1 傍聴受付証の交付を受けてください
2 傍聴受付証は先着順にお渡しします
3 傍聴席数は次の通りです
本会議 30席・委員会 9席・全員協議会 7席

動画視聴 動画でご覧いただけます
議会の様子の録画を下記から公開しています。
【YouTubeチャンネル『茨城県阿見町議会』】
1 QRコードを読み込んで視聴できます。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため傍聴席数が変更となる場合があります

紙井和美議員
子どもの教育と子育て支援の強化
問 幼児小架け橋プログラムの取組み。
答 小学校入学後、スムーズに学校生活を送れるよう取り組みたい。
問 不登校内フリースクールを小学校にも導入できないか。
答 要望があれば検討したい。
問 郷土について学ぶふるさと学習で主権者教育を。
答 今後活動の幅を広げてまいりたい。
問 中学校部活動地域移行について、移行先の選定・場所・費用は。
答 活動実績のあるスポーツ団体や既存の外部指導員が考えられ、場所は中学校グラウンドや体育館、総合運動公園や町民体育館等。費用は令和5年から負担を求め、検討することはないが、状況に応じて検討が必要はある。



▲阿見中学校の部活の試合風景

高齢者の健康維持への取組み
問 軽度認知症の居場所を提供する事業所に対し支援できないか。
答 国の指針を事業所と確認し合い事業所指定に向けて進めていく。
問 栄養ケア・ステーションの活用はどうか。
答 今後、高齢者のフレイル予防のために、栄養ケア・ステーションの協力を得ながら取り組みたい。
問 男性用トイレにサンタリーボックスの設置を。
答 潜在的なニーズは高いと考えており、役場庁舎10か所に設置を進める。出先機関へも順次設置できるように検討してまいりたい。



紙井和美議員

子どもの教育と子育て支援の強化



難波千香子議員



体育館や教育環境の整備強化



問 各学校施設等の長寿命化計画は。

答 朝日中学校を令和5年度・6年度で工事予定。今後、阿見第一小、本郷小と継続して実施する計画。

問 改正バリアフリー法による朝日中のエレベーターやLED化は。

答 計画していく。スロープも検討。

問 避難所となる学校体育館のエアコン設置やトイレの洋式化は。

答 エアコンは財源を見出し検討。トイレの洋式化は今年度、本郷小、阿見中及び柔剣道場、竹来中を予定。今後、他の6校も検討する。

問 町民体育館の改修と空調設備、風のない輻射式冷暖房等の導入は。

答 屋根と外壁の防水改修と、空調設備は断熱材の追加等も想定され今後検討する。

不登校児童生徒及びその家族への支援は

問 不登校支援教室「校内フリースクール」や適応指導教室「やすらぎの園」が開設しているが、支援拡充は。

答 教員研修やスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の配置の拡充を図っていく。

問 やすらぎの園に学校の給食の配送は。

答 不定期の通所も多く、検討する。

問 民間フリースクールへ通う際の経済的支援や家族の会への支援は。

答 令和3年度からの県授業料等減免補助を案内し各家庭を支援する。

問 児童生徒が1人1台端末からの校内オンライン相談窓口の設置は。

答 開設に向け準備を進める。

【その他質問事項】
○高齢者等がいきいき暮らせるための支援拡充



▲不登校児保護者を支える会（交流の様子）

久保谷実議員



阿見町の子供たちの現状と展望



問 教育相談センターで実践している内容は。

答 児童生徒への援助指導、教育に関する保護者からの電話相談や面接相談、学校及び関係機関との連絡調整や教職員への助言指導等を行い、7名の学校教育指導員で行っている。

問 学校だけでは解決できない問題の対応は。

答 教育相談センターには、町雇用のスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーを配置し、専門的な見地から、外部関係機関と連携を図り、カウンセリングを行い対応している。

学校プールの現状と今後のあり方

問 各小中学校のプールの使用年数



▲教育相談センター「やすらぎの園」

と耐用年数は。

答 使用年数は36年から52年となり、耐用年数は鉄筋コンクリート造が60年、機器や配管設備が25年、防水が20年です。

問 今後の維持管理費は。

答 過去の実績から推計すると年間約1,100万円の見込みです。来年度プールを再開した場合は3年間稼働させていないことから、全校で清掃・点検に約500万円、点検結果により別途加算となる。

問 老若男女が一同に集い、一番の地域づくりになる温水プール整備を検討しては。

答 温水プールの必要性は感じているが、本郷小学校の増設や児童クラブの建て替え、子育て（総合）支援センターなどもある。その中で、プールを再開するためには多額な費用を要するので、私（町長）の任期中につくっていきたい思いはある。補助金や起債の活用も含め、前向きに検討したい。

QRコードからアクセスすると各議員の質問（録画動画）が視聴できます

飯野良治議員



町民要求とアンケート・署名の位置付けと町の対応



問 アンケート・署名に影響を受けての事業の決定は、『世論調査に基づく政治的決定』か。

答 住民自らが実施するアンケート等は、必ずしも住民の意見や態度を客観的かつ数量的に把握したものとはいえない面がある。しかし、そうした住民行動が行われた背景には、現時点における切実な問題や新たな課題が存在しており、どのような設問で、どのような範囲に対し行われたアンケートであるかなどを慎重に確認しながら、それらを問題意識の出発点として、現在進めている政策に照らし、検討委員会等での熟議を経て方針を見出していくことは、町が把握していなかった地域課題を解決していくために必要かつ有効な手段と考えている。

問 アンケートの回収率、結果を町としての受け止める際の客観的基準はあるか。

答 アンケート結果のみで政策的判断

断をするような基準はない。

問 地区の役員が自主的にアンケートを行うことへの見解は。

答 町が主導している事業ではなく、判断や評価等を行う立場にない中で、見守っていくだけです。

問 町はどのようにして住民要求を把握して政策に反映しているか。

答 各担当課で様々な機会を通じて町民の皆様からご意見等をお聞きしている。さらに町長が直接町政に対する意見や要望などを聞く、「町長と語る会」や「まちづくり提案箱」を実施し、政策に反映させている。

【その他質問事項】

○正午のチャイムの導入



樋口達哉議員



コロナ禍等の町民の運動不足解消



問 令和3年3月の、町民体育館の利用時間を22時まで延長する質問に対し、「町民のコロナ禍による運動不足の解消や、健康増進のための利用時間延長について前向きに検討する。」との答弁があったが現状は。

答 現在、22時まで利用時間を延長することについて、業者との調整ができていない。

問 どのような理由で調整が遅れているのか。

答 シルバー人材センターの勤務員の勤務時間が深夜帯にまで及ばないよう、21時30分頃までの利用時間延長を目指し、調整中である。

問 今後、更に続くと予想されるコロナ禍や熱中症禍で、町民体育館への冷暖房設備の導入は、町民の命を守るため、喫緊の課題と考えるが、町の対策は。



▲令和4年7月31日のWGBT（暑さ指数）

答 体育館への冷暖房設備設備の導入には、体育館の改修費用や、冷暖房設備の導入コスト、ランニングコスト、設置期間などが掛かるが、下妻市が市立総合体育館に導入した低コストな冷暖房設備などを参考に、導入を考えたい。



阿見町消防団の今後の在り方

問 6月30日に町内で発生した大規模火災時の消防団の活動内容と活動状況は。

答 延べ人数255人の団員が出動し、水利の中継、現場の安全確保、交通誘導等を積極的に行った。猛暑の中の長時間の火災であったため、飲料水等の継続的な補給や休憩施設の用意、土日と平日の出動団員数の差異、長時間出動した場合の手当、広範囲での連絡手段や資機材の充実など、新たな課題と改善の必要性も見えた。団幹部や消防署と相談しながら、改善に努める。

問 今後のスケジュールと地元への説明は。

答 当該工場によると、建物を解体し更地になるのは令和5年7月末とのことで、立地する地区内に対し8月26日付で回覧文書により周知した。

問 消防団員不足の中、統合なども含めた今後の阿見町消防団の在り方は。

答 今後、分団の統合が可能性として想定される。統合のメリットとして車両や設備等の維持管理費用及び人件費の削減、消防団活動の強化、デメリットとして担当地区の広範囲化、地元とのつながりの希薄化、地域住民の喪失感等がある。まずは現状の組織の中で、手当等を含めた処遇改善、適切な車両への更新や運転免許取得の補助に取り組み、消防団の活動実績をPRすることで消防団の魅力、地域貢献への誇り等を発信し、団員の確保と分団の自立存続により、地域消防力を維持していく。



▲大規模火災時の消防団の活動の様子



川畑秀慈 議員



子どもの権利

問 令和5年4月1日に「子ども基本法」が施行される。「子どもの権利条約」に掲げられた4つの一般原則が基本理念に位置付けられているが、この基本理念をどのように捉えているのか。

答 子どもの権利に関する国の基本方針、理念及び子どもの権利保障のための原理原則が定められることは、将来を担う子どもたちにとって大変に有益なことと捉えている。

問 学校現場での今後の取り組みは。

答 いじめの問題については、各学校のいじめ防止基本方針を学校ホームページで公開し、保護者や地域への啓発を更に進めるとともに、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等との

日本の子どもの「精神的幸福度」は38カ国中37位

ユニセフが2020年に公表した先進国の子どもの幸福度に関する報告書「レポートカード16—子どもたちに影響する世界：先進国の子どもの幸福度を形成するものは何か」によると、日本は死亡率や肥満率による「身体的健康」は38カ国中1位であるにも関わらず、「精神的幸福度」においては最下位に近い結果になっています。ここで言う「精神的幸福度」とは、生活満足度と自殺率を指標とするものです。

子どもの幸福度の順位表(38カ国中)

総合順位	国	精神的幸福度		身体的健康		スキル	
		生活満足度 ^{*1}	自殺率	過体重、肥満率	子どもの死亡率	学力 ^{*2}	社会的スキル ^{*3}
7	フランス	7		18		5	
14	ドイツ	16		10		21	
19	イタリア	9		31		15	
20	日本	37		1		27	
21	韓国	34		13		11	
27	イギリス	29		19		26	
30	カナダ	31		30		18	
36	アメリカ	32		38		32	

*1 「生活に満足している」と答えた15歳生徒の割合
*2 読解力・数学分野で基礎的習熟度に達している15歳生徒の割合
*3 「すぐに友だちができる」と答えた15歳生徒の割合

▲出典：ユニセフ 2020 先進国の子どもの幸福度レポートから



道路里親制度及び公園里親制度の推進と課題



問 荒川本郷地区や中央地区では住宅団地が引き続いて活発に造成されている。公園もたくさん作られている。公園里親制度によって管理清掃されている箇所数及び道路里親制度で活動している団体数は。

答 公園緑地数は令和4年8月時点で189カ所、その内、里親により管理清掃されている公園緑地は52カ所、活動している団体数は33団体ある。道路里親は5団体が登録されている。

問 里親制度を実施する団体の保険加入状況は。

答 ボランティア活動を行う住民が怪我等をした場合に保険金が支払われるほか、第三者に被害を与えた場合にも賠償できる保険に、町が全額負担して加入している。

問 刈払機は非常に危険だ。事故も2件発生している。事故防止のため、里親団体に教育実施の要請とセットで費用負担の制度をつくるべきだと思いませんか。

答 道路里親では刈払機は使用していない。公園緑地里親では刈払機等を使用して草刈りや低木の剪定をしているところがある。安全に使用していただくようお願いしているが、町で研修を実施したり、講習を義務付けてはいない。しかし、ボランティア活動であっても、安全に使用するための知識は必要と考えるので、各団体の研修業者等の実態把握及び研修等の情報提供を検討していく。



▲夏草におおわれた公園

【その他質問事項】
○安倍元首相の国葬に対する町及び教育委員会の対応



消防団員優遇制度と団員確保



問 優遇制度のひとつとして、準中型自動車免許の取得費補助を今年度から始めたが、現在までの申請状況は。

答 現時点で補助対象者4人のうち1件の相談が届いている。

問 消防団事務担当課だけでなく、他の部署や課と連携して団員に対して補助事業を行っている例はあるか。

答 当町でも定住促進、生活環境などの支援を行っているが、消防団と掛け合わせて支援する形にはなっていない。課の連携については、今後の研究課題とし、調査を実施する。

問 団員の勧誘について、学校のPTAなどで保護者向けに行うのも効果的だと思いませんか。その例はあるか。

答 学校のPTAで団員が消防団の紹介をしたという例もあり、非常

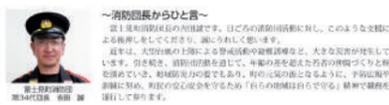
に効果的だと思う。消防団と協力し今後広めていきたい。

問 町内広範囲にわたる大規模災害時に有効な通信手段を整備する考えはあるか。

答 現在、町で保有している機器は比較的近距离用のものであり、消防団員からはより広範囲で使用可能なものへの切替え要望が出ている。最近ではIP電話やMCAトや月額料金がかかるため、消防団幹部と相談しながら、団員にとって最適な機器を提供できるように検討する。

地域貢献に対する5つの補助事業

- ①自動車運転免許取得費補助金
地域での活動より発生したため、現在所有する自動車運転免許取得費の補助が困難な高齢者に対し、必要に応じて町が費用の一部を補助する。
- ②新築住宅補助金
町内の高齢者・高齢化する世帯で住宅を新築、または新築住宅を購入した場合に補助金が交付されます。
- ③住宅リフォーム補助金
障がい者の生活環境の改善や高齢者の暮らしの向上を目的としたリフォーム工事の補助金を交付します。
- ④空き家改修補助金
町内の空き家改修を促進し、居住・定住の促進による地域の活性化を図るため、住居としての空き家改修に補助金を交付します。



消防団員募集中!! 一人の地域は、自分で守る。 消防団員募集は、地域の安心安全を守るため、町民の力を必要としています。 入団についてはお近くの消防団長、町民課(061-0119)までご連絡ください。

▲富士見町消防団員への補助事業



阿見町の農業者支援は、充分に出来ているか



問 近隣市町村で行っているような農業者に対する独自対策を、阿見町も考えているか。

答 原油価格や肥料・資材等農産物産資材価格が高騰している状況を受け、国では化学肥料の低減に向けて取り組む農業者の肥料費を価格上昇分の7割を支援する肥料価格高騰対策事業を行うことになった。

また、近隣市町村においても新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した、独自の支援策を行う動きもあり、当町においても、燃料・肥料・飼料等農産物産資材価格高騰に直面する農業者の負担を軽減するため独自の支援策の検討を進めている。

問 令和5年10月1日に予定されているインボイスの導入は、農業者にどのような影響があるか。

答 インボイス制度は、商品を販売した際に受け取った消費税から、仕入れ時にかかった消費税を控除

するための制度で、事業者が仕入税額控除を行なうためには仕入れ先から「適格請求書」を発行してもらわなければならない。
農業者の売上高や売り先との関係により、対応がことなることから、農業者自身が仕組みを正しく理解し、今後の経営発展を考え、判断していく必要がある。農業者が当制度の導入後も売り先と安心して農産物の取引が行えるよう関係機関と連携を図り、制度の周知と支援を行っていく。



進・議・帯 議会活動

Until October 2022

議会が一丸となって二元代表制の一翼を担うべく、町政運営の調査・監視及び評価を行い、政策の立案・提言を行っています。



中国柳州市とリモートミーティングを実施し友好交流協定書を締結

令和4年8月10日 阿見町役場



今年、阿見町と柳州市（中華人民共和国）が友好都市関係を締結して1周年に当たり、また、日中国交正常化50周年にも当たる。そこで、記念イベントの一つとして、阿見町議会と柳州市人民代表大会常務委員会（市議会に相当する組織）とでインターネット回線によるオンラインでのリモートミーティングを実施した。

阿見町議会からは議長・副議長と、総務常任委員会の委員長・副委員長が参加した。それぞれの町市の紹介動画の放映後、「エコ環境」をテーマとしてそれぞれの事例を説明し、質疑応答を行った。またミーティングの最後には、友好交流に関する協定書を締結し、「相互理解と友情をより一層深め、ともに繁栄と発展を促進すること」、「様々な分野での友好的な交流と協力の促進に力を入れ、ともに発展を図ること」、「友好協力関係を強化するため、オンライン又はオフラインでの相互訪問の仕組みを構築すること」に合意した。

今回が初めての開催となる通訳を介した外国とのリモートミーティングだったが、特にトラブルもなく成功し、情報通信技術の発展をあらためて認識するとともに、そのような技術を議会活動において活用していくことの重要性を感じる機会になった。



初受賞



第17回マニフェスト大賞「躍進賞 優秀賞」を受賞



地方自治体の議会、首長、市民等による、地域の民主主義向上に資する優れた取り組みを募集し、表彰する「マニフェスト大賞」において、阿見町議会の「議会アドバイザー制度」の取り組みが、今年度の応募総数 3,133 件の中からエリア選抜 185 件に選ばれた後、「躍進賞 優秀賞」を受賞（優秀賞は 40 件）しました。成果としては、議員研修による資質向上、議会災害対応規程の制定、オンライン会議の体制づくり、意見交換・議会モニター制度導入による住民参加の推進などがありました。エリア選抜は昨年度に続き2年連続、優秀賞は初めての受賞となります。

議会日誌



- 7月**
 - 26日 民生教育常任委員会
 - 28日 産業建設常任委員会
 - 28日 埼玉県三芳町視察受入
 - 29日 産業建設常任委員会所管事務調査(埼玉県坂戸市)
- 8月**
 - 5日 茨城県後期高齢者医療広域連合議会 全員協議会
 - 8日 民生教育常任委員会
 - 9日 議会運営委員会
 - 9日 第3回臨時会
 - 9日 全員協議会
 - 9日 予算決算特別委員会
 - 9日 龍ヶ崎地方衛生組合全員協議会
 - 10日 中国柳州市議会とのリモートミーティング
 - 10日 稲敷地方広域市町村圏事務組合全員協議会
 - 30日 議会運営委員会
 - 30日 全員協議会
 - 30日 予算決算特別委員会

- 9月**
 - 6日 第3回定例会本会議
 - 7日 第3回定例会本会議 (一般質問)
 - 8日 第3回定例会本会議 (一般質問)
 - 9日 第3回定例会本会議 (一般質問)
 - 11日 議会改革等調査研究特別委員会
 - 12日 総務常任委員会
 - 12日 民生教育常任委員会
 - 13日 産業建設常任委員会
 - 14日 予算決算特別委員会 (総務所管)
 - 15日 予算決算特別委員会 (民生教育所管)
 - 16日 予算決算特別委員会 (産業建設所管)
 - 20日 全国議長会町村議会広報研修会
 - 27日 第3回定例会本会議
 - 27日 全員協議会
 - 27日 総務常任委員会
 - 28日 龍ヶ崎地方衛生組合全員協議会
 - 29日 稲敷地方広域市町村圏事務組合全員協議会

- 10月**
 - 4～ 民生教育常任委員会所管事務調査(宮城県富谷市・仙台市)
 - 6日 広聴広報特別委員会
 - 7日 牛久市・阿見町畜場組合全員協議会・定例会
 - 8日 議会改革等調査研究特別委員会
 - 12日 議会運営委員会
 - 12日 龍ヶ崎地方衛生組合全員協議会
 - 13日 民生教育常任委員会所管事務調査(茨城県)
 - 13日 総務常任委員会所管事務調査(鹿嶋市・茨城県)
 - 13日 稲敷地方広域市町村圏事務組合全員協議会
 - 14日 産業建設常任委員会
 - 14日 広聴広報特別委員会
 - 20日 全員協議会
 - 20日 第4回臨時会
 - 24日 龍ヶ崎地方衛生組合定例会

産業建設常任委員会

令和4年7月29日 埼玉県坂戸市

(仮称) 坂戸インターチェンジ北側土地区画整理事業視察研修

産業建設常任委員会では、牛久阿見インターチェンジ周辺地区の土地利用構想の参考とするため、圏央道沿線における産業団地整備に向けた土地区画整理事業の先事例の視察研修を実施した。

埼玉県坂戸市では、区域の地権者全員から同意を得た企業が事業を行う個人施行の手法により土地区画整理事業を行っており、民間企業のスピード感、ノウハウ、資金を活用して進めることができるメリットがあるとのことだった。市役所での事業に関する詳細な説明と活発な質疑応答の後、事業予定地や近隣自治体の事業完了地の視察を行い、委員会として圏央道沿線における土地区画整理事業についての理解を深めた。



坂戸市役所で研修と質疑応答



圏央道と事業予定地

議会改革等調査研究特別委員会

町村の低額な議員報酬は、議員のなり手不足の大きな要因の一つとも指摘されており、当委員会では、市制施行を見据えた上で、議員報酬や定数、政務活動費支給状況について調査研究を行ってきた。その中で、政務活動費の交付を目指し、条例や規則などの制定について協議を進めている。



委員会開催の様子

広聴広報特別委員会

令和4年9月20日 砂防会館(東京都千代田区)

令和4年度 町村議会広報研修会

講演会では、「そろそろ化けませんか!!」～絶滅危惧から持続可能な議会広報へ～というセンセーショナルなタイトルから始まった。「伝える」と「伝わる」は別と題して、発行するだけでなく読んでもらえるための持続可能への7カ条の説明があった。

- ①先入観を捨てる。紙面の使い方は自在。
- ②企画、特集を重視。テーマは身近で住民と一緒に考える。
- ③議会の存在感。審議の過程を重視し表紙にスローガンの表記。
- ④委員会の権限強化。個人からチーム活動。
- ⑤外部の目。モニター制度導入から実効性に繋げる。
- ⑥時流キャッチ。若者を意識した編集や子ども向け特集を!!
- ⑦絶えざる創意工夫。無縁層へのアピール。議会クイズ等も。

何のため? 誰のため? の議会だよりか。議員力をアップさせ、より多くの町民参加型の紙面作りに、改めて傾注して参りたいと、考えさせられる講演会であった。

広報クリニックでは、3つの優秀議会広報からの視点も学び、広聴広報が議会活性化のエンジンとして取り組むべき課題が見え、大変充実した研修となった。



町村議会広報研修会の様子



総務常任委員会

国民体育大会セーリング競技場跡地
道の駅予定地の跡地
旧吉原小学校・旧実穀小学校
男女共同参画センター

国民体育大会セーリング競技場跡地、道の駅予定地の跡地及び旧吉原小・旧実穀小の未利活用部分、男女共同参画センターの現地調査を行った。



国民体育大会セーリング競技場跡地

常任委員会・特別委員会 委員会活動

Until October 2022

各議員が専門的な委員会に分かれて、議案や請願・陳情などの審査、視察や研修を行う各常任委員会や特別委員会の活動をご報告します。

委員会の仕組みについては下記をご参照ください。
<https://www.town.ami.lg.jp/0000000990.html>



令和4年7月12日 阿見町内

国体跡地は、水難事故訓練や霞ヶ浦清掃大作戦を開催した際に利用している。今後は、国体跡地利用検討委員会においてスロープの利活用の検討をすることが決定している。

道の駅跡地は、事業の中止を正式に決定した後、利活用及び管理について、総合計画や都市計画マスタープラン等に位置付けるため、令和4年度～令和5年度に方針を検討していく計画になっている。



道の駅が建設される予定だった土地の跡地

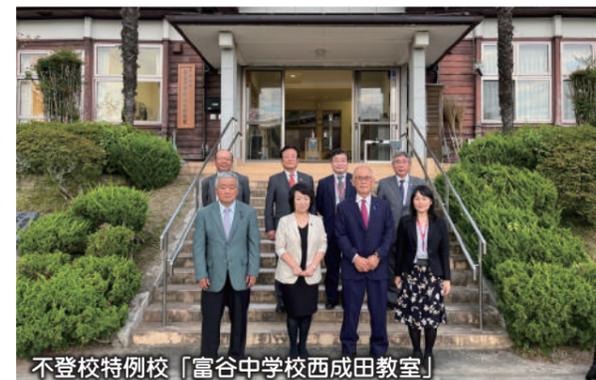
民生教育常任委員会

令和4年10月4日～5日 宮城県富谷市・宮城県仙台市

宮城県富谷市は、平成24年に人口5万人に達し、平成28年10月に単独で市制移行している。当町も人口5万人が目前となっていることから、福祉分野で市制によって新たに行う事務について伺った。教育分野では、「学び合い」による学習活動やICT教育の推進について伺い、文部科学大臣の指定を受けた不登校

特例校「富谷中学校西成田教室」について説明を受けた後、現地を見学させていただいた。

仙台市では、東日本大震災で2階まで津波が押し寄せた校舎を震災遺構として公開している「仙台市立荒浜小学校」を見学した。防災教育でも活用されており、当日も多くの小学生や学生が訪れていた。



不登校特例校「富谷中学校西成田教室」



震災遺構「仙台市立荒浜小学校」

町びとインタビュー



塚本勝則さん

Q あなたが行っている主な活動はどんなことでしょうか？また、そのきっかけや今後どうしていきたいかをお聞きます。

A NPOマリッジクラブ 婚活のお手伝いをしております。

少子化が社会問題になっている事を知り、すぐに行動すべきだと思いました。

今後はより町民の皆さんに存在を知っていただき、気軽に相談をして頂ける環境を整えていきたいです。大人数での婚活パーティー開催ができない状態が続いたので、相談事業に力を入れております。

Q コロナ禍で活動も大変だったと思いますが、昨年の実績と今年度の活動計画はどうですか？

A 昨年度は、婚活支援相談を行い149件の相談がありました。今年度は令和4年11月13日(日)割烹みとやにおいてミニお見合いパーティーを行う予定です。皆さんの参加をお待ちしています。

Q 議会に対しての関心と思いなどを伺います。

A コロナ禍で冷え切ってしまったている飲食店や商店への手厚いサポートをお願いしたいです。3年も続くとは予想もできない不況ですので経営の回復は至難の業です。

今こそ政治の力でV字

Q 町民の声は議会に届いていると感じますか。町議会議員の皆さんも家に帰れば、父親だったり母親だったりおじいちゃんだったりしていると思います。そんな中、身近な近所の方や地域の困りごと要望を吸い上げていただいていると思っています。ぜひ今後とも住民の声を聴く、大きな耳を持ち続けて頂きたいです。

Q 将来の阿見町はどうなっほしいですか。

A 私は阿見町で生まれ今年で50歳です。現在、NPO法人マリッジクラブや一般社団法人日本ドローン技術協会などを展開しています。いろいろな事に興味があり、これからはいろいろな仕事をしていきます。これからも起業に優しい町であり続けてほしいです。

また阿見町は、少子高齢化人口減少と言われる中人口が増えています。

このまま人口が多くなってほしいです。今、本郷地区を中心に新築の家がたくさん立っています。ここで育った子どもたちが、他の地域に移ることがないように郷土愛があふれる、暮らしやすい阿見町であり続けてほしいです。子どもにも高齢者にも、やさしい阿見町であり続けてほしいです。最後に、議会の皆様の日々の活動に対して心より感謝いたします。

阿見町 + NPO法人マリッジクラブ

令和4年度 婚活協働事業のご案内

阿見町で素敵な出会い...「運命の出会い」を待ちませんか？

対象：結婚を希望する20歳以上の独身の男女
・阿見町にお住まいの方
・阿見町に住んでいた方、勤めていた方、これから住みたいと考えている方...など

1 ミニお見合いパーティー (割烹みとや) 婚活みとや
開催日：令和4年11月13日(日)
場所：割烹みとや
時間：受付 13:30
開始 14:05 ~ 16:30
参加費：男性 3,000円 女性 1,000円
※当日現金払い、お振込可
※みとや特設トイレ、お土産あり

2 親御さん向け婚活支援 結婚支援出張相談会の開催
本年度も「結婚支援出張相談会」を開催いたします。
※申込は11月13日(日)開催の前日まで
詳細はチラシやWebにてお知らせいたします。

3 結婚支援相談窓口の開設
結婚を希望する方(本人)と親族(お父さんやお母さん)の両方に個別に相談を行います。
※事前予約 (窓口)
週5日(水木金土日)
11:00~16:00
場所：阿見町民活動センター (マイアミショップ隣センター3F)
受付電話番号：029-893-3588
029-886-6787
080-4198-6787

【マリッジクラブ事務局】
〒896-0001 阿見町中央二丁目一丁目一
Tel. 029-893-3588
029-886-6787
080-4198-6787
http://www.marriageclub.or.jp

あみ議会だより

第174号

●発行：阿見町議会 ●発行責任者：阿見町議会議長

●〒300-0392 茨城県稲敷郡阿見町中央二丁目一丁目一

●編集：広聴広報特別委員会 TEL：029-886-6787

●メール：gk@amimiyakou.or.jp

編集後記

9月定例会の期間中、全国町村議会広報研修会が開催されました。研修当日は、台風14号が日本を縦断する中の参加でした。

以前は、紙媒体のみの伝え方の研修でしたが今はIT機器が発達し、情報伝達の方法が多岐に渡り大きく変わってきました。情報の取り方もテレビよりインターネットから取る人が増えています。「どう伝えるか」から「どうしたら伝わるのか」について大変興味深く研修ができました。今後は、住民の皆様により伝わる議会だよりを発行できるように取り組んでまいります。 川畑 秀慈

次回定例会

12月6日(火)

本会議、議会運営委員会、常任委員会、特別委員会、全員協議会は傍聴できます。本会議は役場1階ロビーのテレビでもご覧いただけます。

広聴広報 特別委員会

【委員長】 難波 千香子

【副委員長】 栗田 敏昌

【委員】 紙井 和美 川畑 秀慈 高野 好央 落合 剛